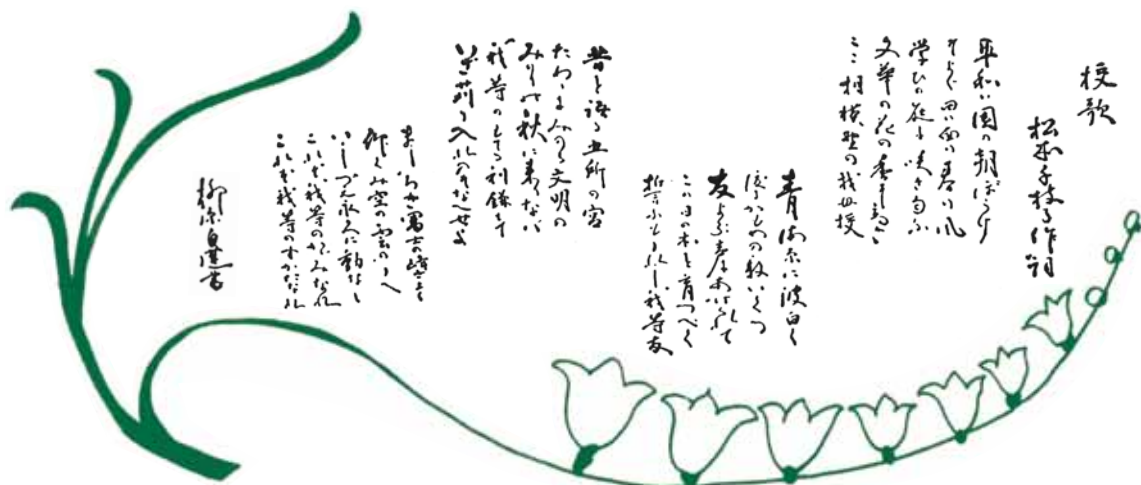


和敬會

学祖 松本生太先生 筆

和敬会だより

2013.4.19 発行 15号



鎌倉女子大学和敬会

☎247-8511 鎌倉市岩瀬1420 ☎0467-44-2200

七〇周年にあたって



学校法人 鎌倉女子大学

理事長 福井 一光

学祖・松本生太先生が鎌倉女子大学の礎を築かれてから、今年でちょうど七〇年の年回りとなりました。この間、日本は、戦争の惨禍、戦後の荒廃と復興、経済の成長、文明の爛熟と精神の退廃、思いがけない大震災と原発事故と、さまざまな出来事を経験し、学園もまた、決して順風満帆な時代だけを送ったわけではありませんでした。

しかし、こうして学園の発展の中で穏やかな新春を迎えることが出来たことに、あらためて深く感謝します。併せて、和敬会会員の皆さまにも、母校へのご支援にお礼申し上げます。

平成二五年度は、創設以来最も多くの在籍者数を抱えてスタート出来る見込みです。

七〇周年だからといって、殊更何かイベントを企画しているわけではありませんが、私たちがいつも心に留めながら法人を運営していることは、創設者が掲げた建学の精神と、その時代時代を担った教職員・学生・生徒・児童・園児、そして保護者の方々が大事に継承してきた教育の伝統を各自が率先垂範し、次の世代に伝えわたしていくという事です。それはまた、私たちの自律的な覚悟といったことに止まらず、大学の外部認証評価が厳しく求められている今日、私たちが心して問い直さなくてはならない義務ともなっているものです。

中央教育審議会も、大学全体及び各学部・学科単位のディプロマポリシー（学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の内容・方法の方針）、アドミッションポリシー（入学者の受け入れの方針）を整備する方針を打ち出しました。これに添えて、この大学においても、建学の精神が大学の基本方針、各学部・学科のカリキュラムの編成方針、それに相応しい入学選考の方針に具現化されることが求められているわけです。外部の公的機関が国公私立にわたる日本の全大学のポートレートを制作し、公開する計画も進められているところです。こうした時代ですから、法人としても、和敬会会長以下事務局各位に対しまして一層期待

するところが大きいものがあるわけです。

昨年度は、七月に待望の学術研究棟が竣工し、本学の教育研究活動にも一層の広がりが出てまいりました。大船キャンパス東山の北側に建ち上がった六階建ての新棟の中には、ハ一の個人研究室（平均二二㎡）、ミーティングラウンジ、学術研究所事務局及び会議室、複数の学会事務局、非常勤講師控室等が整備されました。大船キャンパスという素晴らしい器に恵まれてからちょうど一〇年が経過し、大学院や学部・学科の新設や教育研究内容の充実に努めてまいりましたが、本格的な内容の充実をいよいよメインテーマとする八〇周年に向けての第一歩を踏み出したところです。



学術研究棟

学生・教員ラウンジ



鎌倉女子大学のあゆみ

- 1943（昭和18年1月） 神奈川県最初の女子専門学校として、京浜女子家政理学専門学校を設立
- 1945（昭和20年5月） 爆撃により校舎全焼
- 1946（昭和21年1月） 鎌倉市若瀬の現在地に新たな学園再建の第一歩を踏む
- 1948（昭和23年3月） 京浜女子家政理学専門学校附属中学校を設置
- 1950（昭和25年3月） 学制改革に伴い、京浜女子家政理学専門学校は、京浜女子短期大学（家政科・保健科）に移行、附属高等学校、附属幼稚園を設置、京浜女子短期大学附属中学校と名称を変更
- 1951（昭和26年3月） 京浜女子短期大学附属小学校を設置
- 1957（昭和32年3月） 京浜女子短期大学に初等教育科を増設（保健科を家政科に統合）
- 1959（昭和34年1月） 京浜女子大学家政学部家政学科を設置
- 1962（昭和37年3月） 京浜女子大学短期大学部に初等教育科第2部を増設
- 1964（昭和39年1月） 京浜女子大学家政学部に児童学科を増設
- 1968（昭和43年10月） 松本講堂を竣工
- 1980（昭和55年10月） 学祖松本生太 生誕100年記念式典を挙げる
- 1993（平成5年11月） 創立50周年記念式典を挙げる
- 1995（平成7年1月） 二階堂学舎を竣工
- 1997（平成9年1月） 山ノ内学舎を取得
- 1999（平成11年12月） 鎌倉市大船に新キャンパス用地を取得
- 2000（平成12年12月） 鎌倉女子大学短期大学部に専攻科を設置
- 2001（平成13年8月） 鎌倉女子大学に児童学部（児童学科・子ども心理学部）を増設
- 2002（平成14年7月） 鎌倉女子大学家政学部を改組し、家政学科・管理栄養学科を設置
- 2003（平成15年4月） 大船キャンパス開設記念式典を挙げる
- 2004（平成16年7月） 鎌倉女子大学家政学部に家政保健学科を設置（家政学科を改組）
- 2005（平成17年12月） 鎌倉女子大学大学院児童学研究科児童学専攻を設置
- 2006（平成18年9月） 鎌倉女子大学児童学部に教育学科を設置
- 2008（平成20年6月） 鎌倉女子大学に教育学部を増設。鎌倉女子大学教育学部に教育学科を設置
- 2012（平成24年7月） 学術研究棟を竣工

豊かに時を過ごす



和敬会 会長

金子 小夜美

和敬会会員の皆様、お元気にてお過ごしのことと思います。

季節がめぐり、時が過ぎ
心に残る あの日 あの人——
いつまでも忘れたくない出来事が
私たちをつなぎ
あたたかく 励ましてくれる

今年の一月に、鎌倉女子大学は「七〇周年」を迎えました。内閣府が定義づけている「エイジレスライフ」を送る同窓生の皆様の、若き日々と多くの夢が詰まっている七十年——を誇りに思います。さらに高みを目指して、

「豊かに時を過ごす」ためには、いくつになっても大切な「学び」——その取り組み方は何よりも自分が「楽しい」「面白い」と思わなければ長続きしないといわれています。私たちは「学び」を通して知識や技能を身に付け、心が豊かになり、また、仲間を広げることができるのです。

「学び」を続けるには、毎回、成果を期待せず、のんびり取り組むこともお勧めします。早く上手になろうとあせらず、自然に上手になれば良いのです。もちろん時間をかけることで上達するものもあります。そのためには、長生きすることが肝心なのです。

「学び」の醍醐味は、日常に変化が生まれることなのではないでしょうか。今年も「豊かに自分の時を過ごす」一年でありますように……

今年もまた「和敬会だより」をお届けする季節となりました。
回を重ねてもう「十五号」！

思い出を振り返り
未来に希望を託す

そんな今回の「和敬会だより」です。
心の窓を大きく開けて、さわやかな風をいっぱいとり入れて、ゆっくりと
お読みください。

八十路となつて



浄念寺 住職

橋下 賢明

ご縁をいただいて教壇に立たせていただいたのは昭和二十八年から昭和五十八年の三十年間、この間学内外の様々を経験し教えられた事々が今日の私の支えとなつて居ります。

学内行事を初めクラブ活動、徒歩旅行、トランプ鼓隊の海外遠征、どれをとっても貴重な体験を積ませていただきました。

退職後早や三十年となりますが、その知り得た知識経験を元に自坊にあっては寺門興隆、檀信徒の教化、又地域社会に於ては宗派内の行政、県、市仏教会の理事等を、更に特養ホーム理事など務めさせていただいて居ります。

又ロータリークラブに入会し会長、幹事など歴任し現在横浜ひまわりクラブの一員として社会奉仕活動をはじめ種々な奉仕活動に従事しています。その中でもG.S.Eというプログラムでは外国からの職業奉仕活動の人々、交換留学生のホームステイも二十年近く受入れ国際奉仕の一翼になつて居ります。

昨年の東北大地震の復興支援の一端として十数回、本年度は三回に亘り宮古、釜石、大船渡、気仙沼、石巻など災害地の慰問、救援物資のお届けなどささやかではありますが息の長い奉仕を続けたいと念願して居ります。



それもこれも三十年間の学園でつちかわれた知識経験が元となつて居ります。お蔭様で足腰の痛みもなく日々活躍できる事に感謝する日々です。

米寿によせて



学園主 松本 紀子

皆様、ご機嫌よくお過ごしのことと存じます。こうして久しぶりにお便りができますこと、心より嬉しく思っています。



H24.2.11 松本紀子先生の米寿をお祝いする会
(ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル)



H23.10.1「音楽の森」
(大船キャンパス 教室棟 大講義室)

長い人生を振り返ってみますと、私は8のつく年齢に起こった出来事が、何故か心に残っていることに気がきます。私の年齢は昭和の年号とほぼ同じなのですが。

- ❖ 25歳で結婚して学相夫妻、義兄夫婦と賑やかに過ごした磯子の山の家から、親子3人鎌倉岩瀬へ引っ越してきたのが昭和28年4月1日。主人は「母はきれいい好きで許してくれなかったが晴れて一家の主人となり、堂々と威張って犬が飼えるようになった」と豪語。犬に限らず、すべてマイペース。この年の12月16日家族4人になった。
- ❖ 昭和38年、京浜女子大学合唱団発足。団長は松本尚、張り切る蓼田先生と私。
- ❖ 苦節10年、岡山で行われた全日本合唱コンクール全国大会



H24.3.13 幼稚部 修了証書授与式
(大船キャンパス アリーナ棟 多目的ホール)

- ❖ で銀賞受賞。松本生太、千枝子先生の墓前に千羽鶴を捧げて感謝を。
- ❖ そして10年、創立20周年を迎えた合唱団にイタリア、アレツツオ音楽協会から招待状が届き、コンクールに学生40名が参加。ハーモニーが美しくファンタジーで素晴らしいと特別賞を頂き、大成功。成田で出迎えてくれた主人の満足な笑顔を忘れることが出来ない。
- ❖ 平成4年の秋、尚75歳、たくさんの思いを残し帰らぬ人となり、68歳の私は悲しむいとまもなく、難問題に眠れぬ夜も…時を経て、平成11年、主人7回目の命日、松竹との土地譲渡の基本合意が整い、新聞発表。
- ❖ 平成14年、78歳。半世紀住み慣れ



H24.9.29「音楽の森」
(岩瀬キャンパス 松本講堂)

いの深い岩瀬の家を取り壊し、大船近くのマンションに移り、翌15年4月19日、大船キャンパス開設記念式典を行う。

- ❖ 平成24年、88歳の終着駅に欲張りですがまだやりたいことが。平成25年12月8日第50回の合唱団定期演奏会を見届け聞き届け、団長、磯部、蓼田両先生に報告をしなければならぬ。
- ❖ 現在の私は足が弱くなりましたが、まだ大丈夫。皆さんをお迎えすることはできます。
- ❖ 大船キャンパスは10年の歴史を育み学術研究棟が完成、岩瀬キャンパスは季節の花が優しく皆様をお迎えします。お目にかかれる時を楽しみにお待ちしております。

駅弁をつくりました

～大船軒とコラボレーション～

さすがに、食に関する意識が高い。大船軒と共同で駅弁を開発した学生は、家政保健学科、調理と食文化ゼミ所属の5名である。家庭料理技能検定に挑戦するなど、知識だけでなく技術も確かである。大船軒とのコラボ駅弁について話を聞いた。

開発のキーワードは、若い女性、季節感、地産地消である。1回目は「あじさい」、2回目は「行楽」、3回目は「精進料理」と鎌倉らしいテーマである。駅弁の定番である煮物・揚げ物以

かまくら旬彩べんとう



- 華ちらし寿し
- 小鰯の香草焼
- 鶏の唐揚げ甘酢あんかけ
- しらす炒め
- 中華山くらげ
- 鎌倉地野菜のディップソース添え
- 梅ゼリー●抹茶のケーキ

かまくら旬祭べんとう



- 紅葉きのごはん●鰯とスモークサーモンの押寿司
- れんこんと豆腐の照り焼き風●鎌倉グラタン
- 鶏の塩麹秋色揚げ●海老と野菜の塩だれ和え
- 人参とごぼうのきんぴら
- かぼちゃサラダ
- ほっこりすいーとぼてと
- 抹茶フルーツあんみつ

かまくら旬菜べんとう



- 山の幸飯●からっと揚げ
- 地場産小松菜の胡麻和え
- 厚揚げの中華あん●ぶっちゃめマリネ
- 秋のかわり煮物
- ピリ辛ヘルシーちゃぶちえ
- なめらかパンプキンプリン
- 林檎のコンポート

外の調理法を意識し、鎌倉野菜や鎌倉ハムといった地元食材にもこだわった。また、話題の塩麹を使った料理があるかと思えば、大船軒の代名詞ともいえる「鰯の押寿司」を取り入れ、伝統の味を知ってもらうことも試みた。発売されたものは、盛りつけの華やかさや野菜のうまさ、味のバランスなど好評を得ている。しかし、友人に感想を聞いたところ、酢飯が馴染めない、満腹感がないなどきびしい評価も受けたという。

「スーパーでは低価格の弁当が売られているが、駅弁は千円程度が主流である。それだけの金額を払ってでも食べたいと思う弁当を作りたい。」と、きびしい意見にも耳を傾け、製作の意欲としている。

「当たり前のことだが、駅弁は出来立てを食べるのではない、冷えてからも美味しいこと。また、細菌が発生しやすいもの、水分が多いものの扱いなど、おいしさと安全性を組み合わせることの難しさを実感した。」と商品化するための苦労もこの弁当で味わった。



話をしてくれた人
家政保健学科 森山千尋さん
吉田春香さん

親子で楽しむあそびの大学

～かまくらママ&パパSカレッジ～



話をしてくれた人
児童学科 林亜矢子さん
本田祥子さん
中山朋美さん
山本あづさん
重盛晴香さん



鎌倉女子大学、かまくら子育て支援グループ懇談会、鎌倉市の三者協働による企画として、平成18年10月に第1回かまくらママ&パパSカレッジ特別企画が開催され、今年で7回目を迎えた。



この中心は、児童学科1年から3年の有志、約200名の学生である。

話をしてくれた2年生5名は、卒業後に幼稚園教諭・保育士を目指しており、「子ども」だけでなく「親子」を知る良い機会を得たという。それぞれが自分の持ち場で、どのように接すれば気持ちよく参加してもらえるか、楽しんでもらえるかを真剣に考え臨んだ。開催日は気温が低く室内企画に人が集まったこと、新しく取り入れたスタンプリーが予想外のところで人気を得たことなどを話しながら、改善点を探る姿勢も頼もしい。

しかし、これだけの企画を実施するための準備は大変なもので、授業の合間を縫って時間をつくり、作業を進めた。子どもが大好きという気持ちがあふれている半面、危険はないか、楽しんでくれるかといった不安も大きい。先輩の話をもとに計画を練り、教員に相談し作り上げた企画は、参加者から好評を得ている。

この企画を通して、学生は先輩が築いた信頼を継承し、保育者としての力を培い、地域とのつながりの重要性を学んでいる。

薔薇と菊

九州と信越支部を尋ねて



和敬会 事務局長

菅原 憲子

平成24年5月、晴、新横浜をのぞみ
3号発車 南に向かつて……。

久留米駅の改札には、有村さんと上野
さんの笑顔がありました。

鎌倉女子大学 和敬会 と大書きさ
れた会場には、顔・顔……が拍手で迎
えてくれました。

乾杯・各々が卒業以来の現状報告一
進むうちに、この席に着いたときは、
？鎌倉女子大学に学んだ同窓生とのみ
思っていたのに、たどっていくと貴女
と私は親戚？時期こそ違うけれども
同じ職場に勤めた……」と親しみの糸
がつながり、輪が広がり、温かい空気
に包まれました。

会場に思いもかけないものが展示さ
れていました——みんながびっくり、
学生時代に毎日着用した『制服』です。

——よく保存しておいた
——私もどこかにしまつてある
感激でいっぱいです。

語り合う言葉は盡きませんでした。
なごりを惜みつつ、近くの新潟園で色
とりどり華麗に咲いた花を鑑賞。
温かな心に満され、帰路につきました。

新潟の秋

秋雨が静かに大地をぬらす越後路。
幅の広い道！降雪時の対策だそうです？

燕三条駅まで出迎えて
くださった杵鞭さんの
車で着いたのは弥彦神
社の門前のホテル。

すでに数名の会員が集
合、にぎやかに会話を
しつつ準備を進めてい
ました。

日も暮れ、なつかし
い顔が集まり、温泉に
温められほころび顔が
揃い、夕餉のテーブル
は現状報告に花が咲き
ました。この地方では、
教職についている方が
多いようで、それぞれ
個人の事にとどまら
ず、職場の事、今日こ
の席に来れなかった友
人の事……話題は広が
り、盡きず、夜の更け

るのも知らぬ語らいでした。
翌朝になつても雨は降りやまず、静
かに紅葉した木々の枝や葉にそそぎ、
一層のあざやかさでした。

紅葉の散り敷く神社の階段の左右に
地元の小学生が育てた鉢植えの菊の展
示があり、一生懸命育てた心・姿を思
い、ひとしおの美しさでした。

和敬会館の庭に散り敷いた？桜の紅
葉の落ち葉」……みんな喜んで記念の
押し葉に収めてくれました。



支部だより

第二回

関西支部

「喫茶去」

大阪市 田倉 幸子

和敬会会員の皆様にはご健勝のことと推察申し上げます。

和敬会関西支部立ち上げにご尽力くださいました上田淑子さんより、平成17年にお申し出があり、末岡定さんと私でお引き受けすることとなりました。名ばかりの関西支部長を務めさせていだいております。平成22年10月

に総会・支部長会のご案内をいただき、二人で出席いたしました。

卒業以来大船駅に降り立つこともなく、久方ぶりに母校の門をくぐりました。学舎も新しく建てかわり、全てが様変わりして驚き、改めて時の経過を感じました。

縁あって同じ学舎で青春を過ごし、又、時を同じくして関西地域に居を構えています会員の方々と「喫茶去」一緒にお茶でも）のところで集い合え

ばと思っています。

私ごとで恐縮ですが「織」をはじめて十年程になります。たて糸・よこ糸の組合わせに思いがけない素敵な柄、色合いに、仕上がっていく楽しさを味わっています。又、糸を染める折には自然からの色をいただき、思いもかけない色との出会いがあり、感動を覚えます。この織のように関西支部の会員同士が出会いを広げ、楽しく集うことができた嬉しく思います。

今秋には関西支部の総会を開きたいと思っています。その節はどうぞご協力よろしく願いいたします。

関西支部より現況報告（たより）です。

平成23年度 和敬会収支決算書

収入の部

費 目	金 額
同 窓 会 費	6,539,500
預 金 利 子	1,473
雑 収 入	2,500
前年度繰越金	10,430,272
合 計	16,973,745

支出の部

費 目	金 額
事業費	4,535,616
支 部 費	311,375
運 営 費	928,603
事 務 費	124,000
設 備・備 品 費	0
通 信・連 絡 費	44,065
消 耗 品 費	28,578
会 館 準 備 費	5,000,000
総 会 準 備 費	500,000
慶 弔 費	16,150
そ の 他	5,000
支 出 合 計	11,493,387
繰 越 金	5,480,358
合 計	16,973,745

以上収支決算について公正、妥当であると認め、相違ないことを報告いたします。

平成24年9月7日

監事

外 浜 美 重 子

監事

武 井 和 子

訃 報

神 戸 正 先生

食料経済 ご担当
平成二十四年四月二十九日 ご逝去

堤 敏 子 先生

体育（なぎなた）ご担当
平成二十五年一月十日 ご逝去

増 田 稔 先生

小児保健 ご担当
平成二十五年一月十八日 ご逝去

ご冥福をお祈りいたします

和敬会会館ご利用について

皆様の会館ですので、ご利用なさる際はご相談に応じます。

- 曜 日 月曜日～金曜日（土・日についてもご希望の際は、ご相談下さい）
 - 時 間 午前10時～午後4時
 - 料 金 1人100円（当日徴収させていただきます）
 - 食 事 持ち込み可能です。
 - 申し込み方法 日時、人数、代表者氏名、住所、電話番号を記載の上、葉書にて下記へお申し込み下さい。
〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 鎌倉女子大学 和敬会
- ※おねがい…電話での申し込み、問い合わせは間違いが
おこりやすいので文書でお願いいたします。



第18回鎌倉女子大学学園祭

岩瀬キャンパス 11月3日(土)・4日(日)
大船キャンパス 11月10日(土)・11日(日)



鎌倉女子大学

大船キャンパス

大学院

大学 家政学部 児童学部 教育学部

短期大学部

〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111 (代表) JR「大船駅」下車、徒歩8分

岩瀬キャンパス

高等部

中等部

初等部

幼稚部

〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200 (代表)

JR「大船駅」下車、バス約10分